

7

軽自動車税種別割

1 対象車両および納税義務者

- ・ 対象車両 原動機付自転車、軽自動車、二輪の小型自動車、小型特殊自動車等
- ・ 納税義務者 4月1日現在、対象車両を所有している個人および法人に課税されます。毎年5月に納付書をお送りします。
- ・ 納期限 5月末日（月割課税制度はありません）
- ・ 納付方法 練馬区ホームページをご覧ください。

2 車両の登録・廃車手続き

軽自動車税種別割の対象車両のうち、練馬区で登録・廃車手続きができるのは、原動機付自転車（125cc以下のバイクとミニカー）・小型特殊自動車のみです。練馬区の標識は、それぞれ番号順に交付しています。

税務課軽自動車税担当および石神井区民事務所で手続きができます。

(1) 登録

手続き内容	申告に必要なもの					
	販売 証明書	廃車申告 受付書 ^{※1}	譲渡 証明書 ^{※2}	旧標識	標識交付 証明書 ^{※1}	本人確認 書類
新規登録	○					○
譲渡	廃車済	○	○			○
	未廃車		○	○	○	○
転入	廃車済	○				○
	未廃車			○	○	○

※1 廃車申告受付書・標識交付証明書は、旧標識を交付した自治体で交付したものです。

※2 譲渡証明書は、譲渡人の住所・氏名、対象車両の車台番号を明記してください。

(2) 廃車

手続き方法	申告に必要なもの				
	標識 ^{※1}	標識交付 証明書	本人確認書類	廃車申告書 ^{※2}	返信用封筒 (要切手)
窓口	○	○	○	○	
郵送	○	○		○	○

※1 標識（ナンバープレート）を紛失した場合は、標識1枚につき弁償金（200円）が必要です。郵送の場合は、郵便局で定額小為替を購入し、何も記入せず、半券は切り離さず同封してください。（送付先は52頁参照）

※2 廃車申告書は、窓口にあります。練馬区ホームページからもダウンロードできます。

(3) 代理人申請の場合

代理人が登録および廃車等の手続きを行う場合、本人からの委任状と代理人の本人確認書類が必要です。詳しくは、税務課軽自動車税担当までお問い合わせください。(57頁参照)

3 軽自動車税種別割の納税証明書

令和5年1月から、軽自動車の車検（継続検査）の際に、検査窓口での軽自動車税種別割納税証明書の提示が原則不要になりました。

なお、二輪の小型自動車は、引き続き納税証明書の提示が必要です。

(1) 窓口での交付

交付場所	取扱時間 (年末年始を除く)	証明書の種類 および手数料
税務課または 区民事務所 (練馬区民事務所除く)	平日 午前8時30分～午後5時	
練馬区役所西庁舎1階 休日・夜間窓口 (要予約)	<ul style="list-style-type: none">◆平日夜間に受け取る場合 <予約受付> 交付希望日の午前8時30分～午後5時 <受け取り> 午後5時～翌日午前8時30分◆土・日・祝休日に受け取る場合 <予約受付> 直前の開庁日の午前8時30分～午後5時 <受け取り> 土・日・祝休日 終日(24時間)◆予約先・受け取れる方 税務課 税証明・軽自動車税担当 ☎ 03-5984-4536 ・来庁される方が、電話で予約してください ・「本人」または「練馬区に同一世帯として住民登録している親族」に限ります	<ul style="list-style-type: none">◆車検（継続検査）用 手数料無料 (過去に未納がないことを証明)◆一般用 手数料 1通 300円 (申請された年度の納付済みの税額を証明)

● 交付申請に必要な書類

納税義務者 本人の申請	本人の運転免許証等の本人確認書類（46頁参照）
代理人申請	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代理人の運転免許証等の本人確認書類（46頁参照） ・ 納税義務者からの委任状（納税義務者が自署した原本） ・ 自動車検査証（写しでも可） 〈委任状、自動車検査証のいずれか1点あれば受付可能〉

(2) 郵送での交付

郵送で証明書の交付を受けられます。申請の際は、1週間程度の余裕をもって申請してください。

● 申請に必要なもの（4点）

- ・ 軽自動車税種別割納税証明書 交付申請書
- ・ 返信用封筒（送付先の住所と氏名を記入し、返信用切手を貼ったもの）
- ・ 住民登録地が記載された本人確認書類の写し（運転免許証等）（46・49頁参照）
ただし、代理人が申請する場合のみ、車検証の写しも必要です。
- ・ 手数料（1通につき300円、郵便局で定額小為替*を購入してください）

*定額小為替には何も記入せず、半券は切り離さず同封してください。
ただし、使用目的が車検（継続検査）用の場合は無料です。


● 交付申請書の書き方

便せん等に以下の①～⑨を記入してください。


申請書の様式は、練馬区ホームページからもダウンロードできます。

- | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 標識番号 ② 氏名・フリガナ ③ 現住所 ④ 電話番号 ⑤ 定置場（車検証上の“使用の本拠の位置”） ⑥ 使用目的（「車検用」またはその他の使用目的） ⑦ 必要な年度（車検用以外の場合のみ） ⑧ 必要な枚数 ⑨ 申請者の氏名・住所・電話番号（代理人が申請する場合のみ） |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

● 送付先 〒176-8501 練馬区役所 税務課 軽自動車税担当



安全運転としっかり装備で自分の命を守りましょう



◎運転は あごひもしめて 気もしめて
 二輪車乗車中事故死亡者のうち、約4割はヘルメットが脱落しています。
 ヘルメットのあごひもは命綱！きつく、きちんとしめましょう。

◎安心を つけて走ろう プロテクター
 二輪車乗車中事故死亡者のうち約3割は胸・腹部が致命傷となっています。
 無防備な胸・腹部をプロテクターでしっかり守りましょう。

担当：交通安全課安全対策係 ☎03-5984-1309

4

税額

(1) 原動機付自転車・二輪車・小型特殊自動車等の税額（年税額）

車 両 区 分		税額（年額）
原動機付自転車	総排気量が50cc以下または 定格出力が0.6kW以下のもの	2,000円
	総排気量が50cc超え90cc以下または 定格出力が0.6kW超え0.8kW以下のもの	2,000円
	総排気量が90cc超え125cc以下または 定格出力が0.8kW超え1kW以下のもの	2,400円
	ミニカー	3,700円
二輪の軽自動車	総排気量が125cc超え250cc以下のもの （側車付含む）	3,600円
二輪の小型自動車	総排気量が250ccを超えるもの	6,000円
小型特殊自動車	農耕作業用	2,400円
	その他	5,900円
雪 上 車	総排気量660cc以下のもの	3,600円
被 け ん 引 車	ボートトレーラー等	3,600円

(2) 三輪以上の軽自動車の税額（年税額）

最初（新車）の新規検査を受けた時期や排出ガス性能等により、適用される税額が異なります。

「最初（新車）の新規検査を受けた時期」とは

最初（新車）の新規検査を受けた時期は、自動車検査証（車検証）の「初度検査年月」で確認できます。

番号〇〇〇〇〇〇〇		自 動 車 検 査 証			令和〇年〇月〇日	軽自動車検査協会	
車両番号	交付年月日	初度検査年月	自動車の種別	用途	自家用・事業用の別	車体の形状	
練馬●●あ●●●●	令和 年 月 日	令和 年 月 日				幅	高さ
車台番号	乗車定員	最初（新車）の新規検査を受けた時期					
車名	型式	原動機の型式				類別区分の番号	

①グリーン化特例（軽課）適用外の税額（年税額）

初度検査年月		車両区分	平成22年3月以前 ^{*1}	平成22年4月から 平成27年3月まで	平成27年4月以降
四輪以上	乗用	自家用	12,900円	7,200円	10,800円
		営業用	8,200円	5,500円	6,900円
	貨物	自家用	6,000円	4,000円	5,000円
		営業用	4,500円	3,000円	3,800円
三輪			4,600円	3,100円	3,900円

※1 最初（新車）の新規検査を受けてから13年を経過した車両は、環境保全の観点から税額を重くする制度（重課）が適用されます。ただし、電気軽自動車、天然ガス軽自動車、メタノール軽自動車、混合メタノール軽自動車、ガソリンハイブリッド軽自動車および被けん引車の各車両は対象外です。

②グリーン化特例（軽課）適用の税額（年税額）

令和4年4月から令和5年3月までに最初（新車）の新規検査を受けた車両で、排出ガス性能および燃費性能の優れた車両^{*2}は、環境保全の観点から税額を軽くする制度（軽課）が令和5年度に限り適用されます。

なお、練馬区が自動車検査証（車検証）の情報に基づき軽自動車税種別割を軽減しますので、軽減のための手続きは不要です。

車両区分			電気軽自動車	ガソリン車・ハイブリッド車など 平成30年排出ガス基準50%以上低減達成車 または 平成17年排出ガス基準75%以上低減達成車	
			天然ガス軽自動車 平成30年排出ガス 規制適合車 または 平成21年排出ガス基準 10%以上低減達成車	令和2年度燃費基準達成かつ 令和12年度燃費基準を90% 達成した車両	令和2年度燃費基準達成かつ 令和12年度燃費基準を70% 達成した車両
四輪以上	乗用	自家用	2,700円	—	—
		営業用	1,800円	3,500円	5,200円
	貨物	自家用	1,300円	—	—
		営業用	1,000円	—	—
三輪	乗用	営業用	1,000円	2,000円	3,000円
	その他		1,000円	—	—

※2 各車両の排出ガスおよび燃費性能基準の達成状況は、自動車検査証（車検証）の備考欄に記載されています。